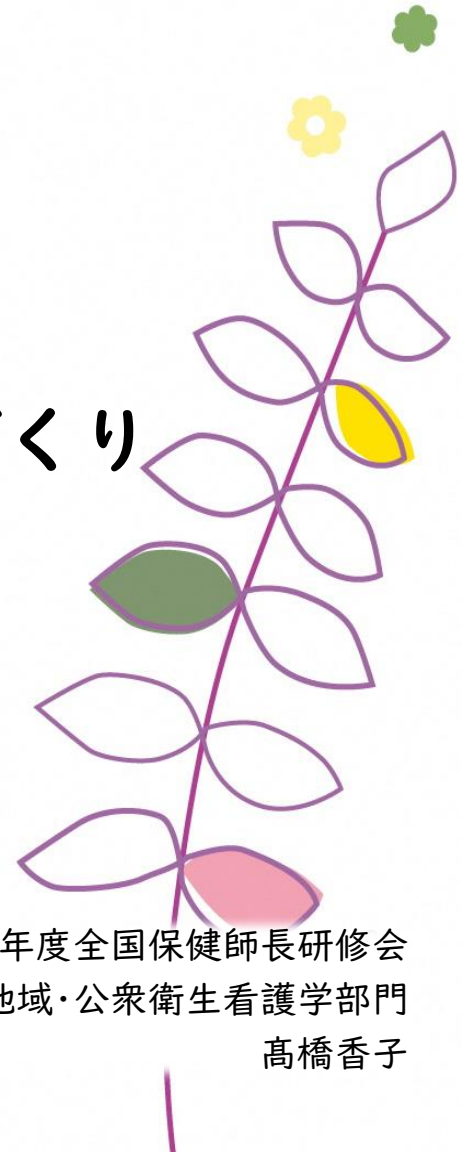




健康危機に強い地域づくり・人づくり



令和3年度全国保健師長研修会
福島県立医科大学 地域・公衆衛生看護学部門
高橋香子



健康危機による人々への影響

【生命レベル】

- 命の喪失
- 障害
- 精神的・心理的ダメージの長期化

【生活レベル】

- 生活の場（拠点）の喪失
- 生業の喪失、生活の糧の喪失

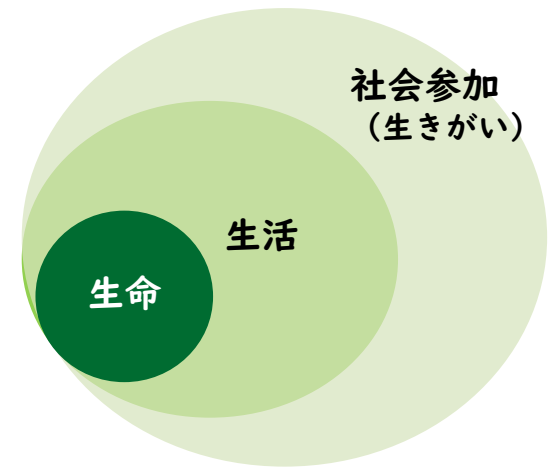
【社会参加のレベル】

- 人と人とのつながりの喪失
- 生きがい、楽しみの喪失

コミュニティの分断

- 家族、近隣、職場、社会活動等々におけるひととひととのつながり。
- 物理的・心理的分断 わかりあうことや支えあうこと

※回復・復興過程の長期化によっても大きく影響される





保健師が直面する問題

◆顕在化している健康問題の解決

- 予防活動も同時並行しなければ問題の顕在化は止まらない

◆刻々と変化する状況に応じた活動の展開

- 即応性
- 現実的な対応

◆健康危機による影響の複雑さ・多様さがゆえに、専門領域の範囲内での解決の困難さ

- 専門領域を超えた連携・協働
- 新たな発想、創意工夫



健康危機に備えて我々ができること

- 健康危機に備えて我々ができることは何でしょうか
- 過去の健康危機下において、様々な問題に直面し、それを乗り越えてきました。そこには自ら「なんとかしたい」と思い、行動する住民・保健師・関係者の姿があります【**当事者性、協働**】

- 「過去」を大切にしつつも、「現在(いま)」と「未来(これから)」考えて行動する【**未来志向**】
 - ※「おかえり モネ」のエピソードから…
- 複雑さ、多様性をもつ種々の問題＝経済的問題、長期化
- 専門領域を超えてアセスメントし、方策を検討する【**新たな発想と創意工夫**】
- 生活者として対象をとらえ、生活を支援するということ【**住民主体、現場第一**】
- 地域に住むすべての人々が必要な支援を受けられるようにする
法制度の狭間にあって困っている人々を見逃さず、見過ごさない【**公平性**】

